



図と写真で見る宮田アクアランドの仕組み

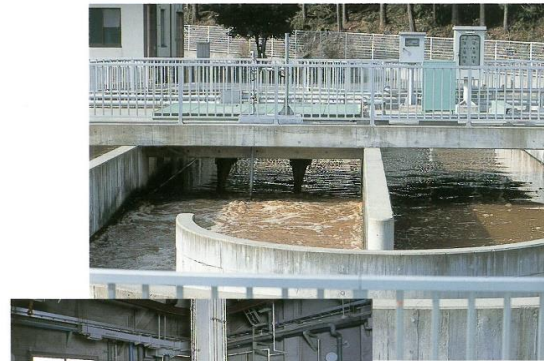
公共下水道施設（オキシデーションディッチ・OD法）



終末処理場の名称
「宮田アクアランド」
 昭和62年4月21日決定
 アクア(ラテン語)は水を、ランドは土地を意味し、美しい水が流れる村を表現しています。

施設の概要

事業名	宮田村公共下水道事業
終末処理場名	宮田アクアランド
所在地	長野県上伊那郡宮田村6879番地
敷地面積	8,619㎡
処理方法	オキシデーションディッチ法
計画区域面積	245ha
計画処理人口	6,920人
処理能力	3,750㎥/日
排除方式	分流式
放流先	1級河川 小田切川
計画流入水質	BOD 160mg/ℓ SS 130mg/ℓ
計画放流水質	BOD 20mg/ℓ SS 30mg/ℓ
供用開始	平成4年11月



▲オキシデーションディッチ



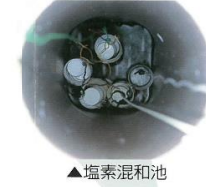
▲沈殿池



▲沈砂池



エビスティリス



▲塩素混和池



▲汚泥脱水機



▲ケーキホッパー



▲制御室

